韓国語の接続表現후에 [hue] と뒤에 [dwie] の意味分析

李 澤 熊

キーワード: 韓国語、類義表現、接続表現、継起的な時間関係

1. はじめに

本稿の目的は、類義関係にある韓国語の接続表現후에 [hue] と뒤에 [dwie] の 2 語を取り上げ、相互の意味の類似点・相違点を明らかにすることである。

この2 語は以下の例からも分かるように、接続表現として用いられた場合、「2 つの(行為や出来事などの)事柄が生じる継起的な時間関係」という共通の意味特徴を持つと考えられる。

- (1) 대부분의 기업들이 신입사원을 뽑은 <u>후에 (뒤에</u>) 몇 개월의 교육과 수습기간을 거치는 것을 감안한다면 대단히 앞서가는 인재육성책이라고 평가 할 수 있다. (KAIST:3702)
 - (ほとんどの企業が新入社員を採った<u>卒에 [hue](뒤에 [dwie]</u>) 何ヶ月間の教育と研修期間を経ることを考えると、大変進んでいる人材育成策であると評価できる)
- (2) 꽃이 진 <u>후에 (뒤에</u>) 달리는 돈 주머니 같은 열매가 ...(KAIST:2633) (花が散った후에 [hue](뒤에 [dwie]) 実る小銭入れのような実が ...)
- (3) 세무 상담을 마치고 두 여자가 돌아간 <u>뒤에 (후에)</u> 변호사는 조수에게 넌지시 물었다.(KAIST:3703)
 (税務相談を終えて二人の女性が帰った<u>뒤에 [dwie](후에 [hue]</u>)弁護士は助手にそれとなく聞いた)
- (4) 전해상이 맑은 <u>뒤에 (후에)</u> 차차 구름이 많이 끼겠습니다. (KAIST:2948)(すべての海上が晴れた뒤에 [dwie](후에 [hue]) 次第に雲が多くなるでしょう)

上記の例における후에 [hue] と 引에 [dwie] はそれぞれ置き換えることができ、文の持つ意味もほとんど変わらない。上記の例はいずれも、2つの事柄が関わっており、両者は時間的な前後関係にあると考えられる。例えば、例(1)は「新入社員を採る」という事柄に後続して「教育と研修期間を経る」という事柄が生じることを表している。また、例(3)は「二人の女性が帰る」という事柄に後続して「弁護士が助手に聞く」という事柄が生じたことを表している。

しかし、以下の例のように互いに置き換えてみると不自然な文になる場合もあるため、両者は違う意味の側面も持っていると考えられる。

- (5) 그레이 씨가 버지니아의 집으로 가서, 그녀와 맥스웰 목사와 함께 상의한 <u>후에</u> (??<u>뒤에</u>) 그렇게 하기로 합의를 보았던 것이다. (KAIST:3651) (グレイさんがバージニアの家に帰って、彼女とメックスウェル牧師と一緒に相談した 후에 [hue](?? 뒤에 [dwie]) そうすると合意したのである)
- (6) 철수야, 이 닦은 <u>뒤에 (?? 후에</u>) 자야지!(哲秀、歯磨いた뒤에 [dwie](?? 후에 [hue]) 寝なきゃ!)

さて、この2語の意味を分析した先行研究として、辞書・辞典類をのぞけば管見の限りでは見あたらない。なお、辞書・辞典類における2語の意味記述は、堂々巡りの説明となっており、それぞれの意味は不明確なままになっている。

以上を踏まえて、本稿では早에 [hue] と 引에 [dwie] について的確な意味記述を試みる。 ここで、本稿の構成について簡単に述べておく。

まず、2. では卒에 [hue] と 뒤에 [dwie] の統語的特徴について述べる。 続いて、3. では両語の意味の類似点・相違点を明らかにする。

最後の4.は本稿のまとめである。

2. 후에 [hue] と뒤에 [dwie] の統語的特徴

まず、次の例を見てみよう。

- (7) 부인은 이것으로 만족했는지, 2 주일 <u>후에</u> 오라는 회답을 보내왔다. (KAIST:3622) (婦人はこれで満足したのか、2 週間후에 [hue] 来いという回答が返ってきた)
- (8) 약혼자의 가족과 가깝게 지내면, 결혼 <u>후에</u> 도움이 된다. (KAIST:3689) (婚約者の家族と仲良くなると、結婚후에 [hue] 役に立つ)
- (9) 그러나 그는 사흘 <u>뒤에</u> 살아날 것이다. (KAIST:3710)(しかし彼は三日<u>뒤에</u> [dwie] 蘇るだろう)
- (10) 그럼 만찬 <u>뒤에</u> 응접실로 불러요.(KAIST:2622)(それでは晩餐뒤에 [dwie] 応接室に呼んでください)
- (11) 시청의 행정조직을 전부 해체한 후에 재편성 하였습니다.(KAIST:3658)

(市役所の行政組織を全部解体した字에 [hue] 再編成しました)

(12) 지영은 몇번이나 확인한 <u>뒤에</u> 중얼거렸다.(KAIST:3614)

(智英は何度も確認した뒤에 [dwie] つぶやいた)

「X 후에 [hue]Y」、「X 뒤에 [dwie]Y」における「X」には、「名詞」(\emptyset (7) \sim (10))または「過去冠形化語尾 \cup / 은」(\emptyset (11)(12))が表れる。日本語の「X あとで Y」における「X」にほぼ相当するものと考えられる。

続いて、以下の例を見てみよう。

- (13) 그 가처분 집행에 의한 만족적 효과가 발생한 <u>후에</u> 생긴 사태를 어떻게 평가하여 야 할 것인가가 문제이다 .(KAIST:2736)(その仮処分の執行による満足的な効果が生じた<u>후에</u> [hue] 事態をどう評価すべきかが問題である)
- (15) 대규모의 태풍이 지나간 <u>뒤에</u> 이름도 못 들어본 전염병이 나타나는 경우도 있다 . (KAIST:2624)

(大型の台風が過ぎた引에 [dwie] 名前も聞いたことない伝染病が現れる場合もある)

- (16) 생존자에 따르면 불은 사고가 난 <u>뒤에</u> 일어났으며 이 때문에 생존자 가운데 많은 사람들이 화상을 입었다고 했습니다.(KAIST:2930)(生存者によると火事は事故が発生した<u>뒤에</u> [dwie] 起きており、このため生存者の中に多くの人たちがやけどを負ったそうです)
- (17) 스탠드의 불을 끈 <u>후에</u> 이불속으로 기어들어갔다.(KAIST:3614) (スタンドの電気を消した후에 [hue] 布団の中に入っていった)
- (18) 침을 꿀꺽 삼킨 <u>후에</u> 침착하게 미소지었다.(KAIST:3614)(唾をぐっと飲み込んだ후에 [hue] 落ち着いて微笑んだ)
- (19) 성철한을 태운 <u>뒤에</u> 곧 도로 문을 닫았다.(KAIST:3614)(聖哲煥を乗せた뒤에 [dwie] すぐ道路の門を閉めた)
- (20) 백기수는 지영을 흘깃 쳐다본 <u>뒤에</u> 대꾸했다.(KAIST:3614)(白記秀は智英をちらっと見た<u>뒤에</u> [dwie] 答えた)

 $[X \stackrel{?}{\sim} 0]$ [Mue]Y, $[X \stackrel{?}{\sim} 0]$ [Mue]Y, $[X \stackrel{?}{\sim} 0]$ $[X \stackrel{\sim$

に「出来事」が表れる場合もあれば、例 (17) \sim (20) のように「行為」が表れる場合もある。 さらに、次の例を見てみよう。

- (21) <u>그녀들은</u> 연습을 끝내고 프로텍터를 벗어버린 <u>후에</u> 소파에 앉았다.(KAIST:3614) (<u>彼女たち</u>は練習を終えて、プロテクターをはずした후에 [hue] ソファーに座った)
- (22) <u>지영은</u> 다시 한 번 의자 쪽을 살핀 <u>뒤에</u> 문쪽으로 돌아섰다.(KAIST:3614) (智英はもう一度椅子のほうを見た뒤에 [dwie] ドアのほうに向かって立った)
- (23) <u>김윤경은</u>, <u>김병로가</u> 타계한 <u>후에</u> 다음과 같이 그를 스케치하였다.(KAIST:3678) (金閏京は、金炳路が他界した후에 [hue] 次のように彼をスケッチした)
- (24) <u>날이</u> 밝은 <u>뒤에</u> <u>나는</u> 시내로 천천히 차를 몰았다.(KAIST:3618) (夜が明けた뒤에 [dwie] 私は市内へゆっくりと車を走らせた)

「X」と「Y」における行為などの主体は、M (21)(22) のように一致してもよく、M (23)(24) のように一致しなくてもよい。

最後に、以下の例を見てみよう。

- (25) 그녀는 인터뷰 요청을 하자 30 여 편이 넘는 자신의 다큐멘터리 작품들을 모두 본 후에 하자고 했다.(KAIST:3664): 勧誘
 (彼女はインタビューを申し込むと、30 編あまりの自分のドキュメンタリー作品をすべて見た후에 [hue] しようと言った)
- (26) 그러므로 협상은 세심하게 숙고한 <u>후에 시작해야 한다</u>.(KAIST:3666): 当為 (従って、交渉は細心の注意を払って、よく考えた후에 [hue] 始めるべきだ)
- (27) 나머지 물건 값은 물건이 온 <u>후에</u> 드리겠습니다 (KAIST:3672): 意志 (残りの代金は品物が届いた<u>후에 [hue] お支払いいたします</u>)
- (28) 반환된 상품으로 문제의 원인을 밝혀낸 <u>뒤에</u> 확실한 <u>답을 드리겠습니다</u>. (KAIST:3681) : 意志

(返却された商品で問題の原因を明らかにした 引에 [dwie] 確実にお返事をいたします)

- (29) 내가 떠난 <u>뒤에 읽어봐</u>.(KAIST:3624): 命令(私は去った뒤에 [dwie] 読んで見ろ)
- (30) 먼저 누군지 밝힌 <u>뒤에 흥정을 하잡니다</u>.(KAIST:3616): 勧誘 (まず誰かを明かした<u>뒤에 [dwie] 取引しようと言っています</u>)

「X 후에 [hue]Y」、「X 뒤에 [dwie]Y」における Y には、「意志、命令、勧誘、当為」などのいわゆる「情意」を表す表現が表れることもある。

3. 후에 [hue] と뒤에 [dwie] の意味分析

本節では、類義関係にある亨에 [hue] と뒤에 [dwie] を取り上げ、両語の意味の類似点・相違点を明らかにする。

まず、両語の類似点についてもう一度確認しておく。次の例を見てみよう。

- (31) 베이비 파우더를 뿌려준 <u>후에 (뒤에)</u> 그 가루를 손으로 털어낸다.(KAIST:3689) (ベビーパウダーをかけた후에 [hue](뒤에 [dwie]) その粉を手で拭き取る)
- (32) 수확시기는 11 월부터 다음해 2 월까지 즉 낙엽이 진 <u>후에 (뒤에</u>) 싹이 나오기 이전까지 ...(KAIST:2633)

- (33) ユ 이야기는 공연이 끝난 <u>뒤에 (후에)</u> 다시 합시다.(KAIST:2629)(その話は講演が終わった<u>뒤에 [dwie](후에 [hue]</u>) またしましょう)
- (34) 내일은 전국이 맑은 <u>뒤에 (후에</u>) 남부지방은 차차 구름이 많아지겠습니다. (KAIST:2853)

以上の例では卒에 [hue] と 引에 [dwie] をそれぞれ置き換えられ、また文の持つ意味もほとんど変わらない。

上記の例はいずれも、2つの事柄が関わっており、両者は時間的に先行-後続の関係にあると考えられる。例えば、例(31)は「ベビーパウダーをかける」「手で拭き取る」という2つの行為について、「ベビーパウダーをかける」という行為が先行して行われ、後続して「手で拭き取る」という行為が行われることを表している。また、例(33)は「晴れる」「雲が多くなる」という事態は時間軸にそった先行-後続の関係にあることを表している。

以上のことから、후에 [hue] と뒤에 [dwie] は「2つの(行為や出来事などの)事柄が生じる継起的な時間関係」を表す場合に用いられると考えられる。

ところが、以下の例 (35) \sim (37) は早에 [hue] を早에 [dwie] で言い換えてみると、この文脈ではやや不自然な文になる。このことから、両語は違う意味の側面も持っていると考えられる。

(35) 부분적으로는 교섭 단체 내에서의 이익의 절충을 통해서 위원회의 심의를 거친 <u>후에 (?? 뒤에</u>) 만장일치에 이르렀고 ...(KAIST:3665)

(部分的には交渉団体内での利益の折衷を通して委員会の審議を経た<u>卒에</u> [hue](?? 뒤에 [dwie]) 満場一致で決まり...)

- (36) 피곤이 엄습하여 졸음이 오고 산사에 어둠이 깃든 <u>후에 (?? 뒤에</u>) 찾아든 정적은 낮과는 비교가 안 된다 .(KAIST:2725) (疲れが襲いかかって、眠気がさし、山寺に夜が訪れた<u>후에 [hue](?? 뒤에 [dwie]</u>) 訪 れた静寂は昼とは比較にならない)
- (37) 돌아오는 일요일에는 닭 한 마리라도 사가지고 고향에 가보자. 어머님 먼저 가신 후에 (?? 뒤에) 외로이 계신 아버님께 불효막심을 사죄나 해볼까.(KAIST:2724) (来る日曜日には鶏一羽でも買って、実家に帰ろう。お母さんが先に逝った<u>후에</u> [hue](?? <u>뒤에</u> [dwie]) 淋しく一人で過ごすお父さんに親不孝者で申し訳ないと謝ってみようかな)
- (38) 권태기란 결혼 생활의 즐거움이 포화 상태가 된 <u>후에</u> 오는 것인데 ...(KAIST:3644) (倦怠期というのは結婚生活の楽しさが飽和状態になった<u>후에</u> [hue] 来るものであるが ...)
- (39) 한주간 동안 집회를 마친 <u>후에</u> 예정 했던대로 건축 연보를 적을 때였습니다. (KAIST:3649)

(一週間の集会を終えた卒에 [hue] 予定通りに建築年表を書く時でした)

まず、以上の例から分かるように、卒에 [hue] は2つの事柄が関係している場合に用いられる。つまり、例(35)では「委員会の審議を経る」「満場一致で決まる」という2つの事柄が関わっており、例(36)では「山寺に夜が訪れる」「静寂が訪れる」という2つの事柄が関係しているということである。

また、以上の例における2つの事柄は時間軸にそった先行-後続の関係にあると言える。 例えば、例(37)は「お母さんが逝く」と「お父さんが一人で寂しく過ごす」という事柄は継 起的に生じる先行-後続の関係にあることを表している。

さらに、例(38)(39)から分かるように、話者は時間軸にそった先行-後続の関係にある2つの事柄を客観的にとらえていると解釈することができる。例えば、例(39)は「集会を終える」「建築年表を書く」という2つの事柄の先行-後続関係は、「予定通り」という表現からも分かるように、「客観的な」立場から述べているととらえられる。

続いて、뒤에 [dwie]を取り上げる。以下の例を見てみよう。

(40) 다음은 일반적인 질문을 한 <u>뒤에</u> 할 수 있는 좀더 상세한 질문들의 예이다. (KAIST:3677)

(次は一般的な質問をした뒤에 [dwie] できるもう少し詳細な質問の例である)

(41) 반환된 상품으로 문제의 원인을 밝혀낸 뒤에 확실한 답을 드리겠습니다.(例(28)

の再掲)

(返却された商品で問題の原因を明らかにした引에 [dwie] 確実にお返事をいたします)

(42) 여섯째, 체온 계측 결과와 숙박업소 주인의 진술은 사체가 사망 <u>뒤에</u> 발견 장소로 유입되었음을 증명한다.(KAIST:3632)

(六番目に、体温計測結果と宿泊業者のオーナーの陳述は死体が、死亡した<u>引에</u> [dwie] 発見場所に移動されたことを証明する)

(43) 철수야, 이 닦은 뒤에 (?? 후에) 자야지!(例(6)の再掲)

(哲秀、歯磨いた뒤에 [dwie](?? 후에 [hue]) 寝なきゃ!)

また、以上の例における2つの事柄は時間軸にそった先行-後続の関係にあると言える。 例えば、例(42)は「(人が) 死亡する」と「死体が発見場所に移動される」という事柄は 継起的に生じる先行-後続の関係にあることを表している。

ただし、例(43)からも分かるように、 뒤에 [dwie] は 早에 [hue] の場合と違って、話者が先行一後続の関係にある 2 つの事柄を時間軸にそった「順番」としてとらえている場合に用いられると考えられる。

例えば、例(43)は「歯を磨く」「寝る」という2つの事柄は、時間軸にそった先行一後 続の関係にあることを表すとともに、話者はそれを「順番」としてとらえていると考えられる。 「順番」としてとらえるということは、そのような先行一後続の関係にあることが話者にとって意 味のあることであるというになる。そのため、例(43)における「歯を磨く」という行為は「寝る」 という行為より先行することに意味があるというように読み取ることができる。

それでは、ここで亨에 [hue]と引에 [dwie]の相違点について検討する。結論を先取りすると、 両語の違いは次のようにまとめられる。

・ 후에 [hue] と 위에 [dwie] はともに、「2 つの(行為や出来事などの)事柄が生じる継起的な時間関係」を表す場合に用いられる。ただし、 후에 [hue] を用いた場合は、「継起的に生じることを客観的に述べる」であるのに対して、 위에 [dwie] を用いた場合は、「継起的に生じることを順番としてとらえる」ということになる。

以上のことを例文に基づいて説明してみよう。

まず、上の例 (35) ~ (37) における후에 [hue] を 뒤에 [dwie] で言い換えてみると、この文脈ではやや不自然な文になる。それは、文の状況から分かるように「継起的に生じることを客観的に述べている」からであると考えられる。

例えば、例(35)は「ある会議で、審議が行われ、その結果が満場一致であった」ということを表している。つまり、時間軸にそった2つの出来事が継起的に生じたことを客観的に述べているということである。この場合、引에 [dwie]を用いると不自然になるのは、「継起的に生じることを順番としてとらえる」ということが想定しにくいからである。つまり、「満場一致」という事柄は「委員会の審議を経る」という事柄の単なる結果であって、「順番」の問題ではないということである。

また、例(36)における「夜が訪れる」「静寂が訪れる」という2つの事柄は「継起的に生じる自然現象」であり、話者はそれを「客観的に述べている」と考えられる。この場合も引에 [dwie]を用いると不自然になるのは、問題となっている2つの事柄を「順番」としてとらえるということが想定しにくいからである。言い換えれば、自然現象として当然のように決まっている事柄に対して、「順番」を問題にするということは通常の場合、考えられないからである。

さらに、例(37)は「お母さんが逝き、その結果としてお父さんが一人で寂しく過ごす」ということを表している。つまり、時間軸にそった2つの出来事が継起的に生じたことを客観的に述べているということである。この場合、引에[dwie]を用いると不自然になるのは、「継起的に生じることを順番としてとらえる」というように想定することが難しいからである。つまり、「お父さんが一人で寂しく過ごす」という事柄は「お母さんが逝く」という事柄が成立したあとの単なる結果であって、「順番」の問題ではないということである。

一方、例(43)における뒤에 [dwie]を亨에 [hue]で言い換えてみると、この文脈では不自然な文になる。それは、文の状況から分かるように「継起的に生じることを順番としてとらえている」からであると考えられる。

上でも述べたように、例(43)における「歯を磨く」「寝る」という2つの事柄は、時間軸にそった先行一後続の関係にあることを表すとともに、話者はそれを順番としてとらえていると考えられる。「順番」としてとらえるということは、そのような先行一後続の関係にあることが話者にとって意味のあることとしてとらえられる。そのため、例(43)における「歯を磨く」という行為は「寝る」という行為より先行することに意味があるというように読み取ることができる。この場合、후에 [hue]を用いると不自然になるのは、文の状況から分かるように、継起的に生じたことを「客観的に述べている」というようにとらえることは難しいからである。

4. まとめ

以上、本稿では類義関係にある韓国語の接続表現후에 [hue]と뒤에 [dwie]の2語を考

察対象とし、相互の意味の類似点・相違点を明らかにした。以下、分析結果を簡単にまとめておく。

まず、2語の意味の分析結果をまとめると次のようになる。

후에 [hue]

< 2つの (行為や出来事などの)事柄が><継起的に><生じることを><客観的に述べる>ことを表す。

뒤에 [dwie]

< 2つの(行為や出来事などの)事柄が><継起的に><生じることを><順番としてとらえる>ことを表す。

次に、후에 [hue] と뒤에 [dwie] の意味の類似点・相違点については、以下のようにまとめられる。

類似点

< 2 つの (行為や出来事などの) 事柄が生じる継起的な時間関係>を表す。

相違点

후에 [hue] を用いた場合は、「継起的に生じることを客観的に述べる」であるのに対して、 뒤에 [dwie] を用いた場合は、「継起的に生じることを順番としてとらえる」ということになる。

参考文献

- (1) 朱信源(編). 2005. 『標準韓国語辞典』白帝社.
- (2) 松村明(編). 1995. 『大辞林』 三省堂.
- (3) 民衆書林編集局(編).1998.『日韓・韓日辞典』民衆書林.
- (4) 安田吉実・箕輪吉次・孫洛範・李淑子(編). 2006.『韓日辞典』民衆書林.

例文出典

- (1) 検索エンジン다음 넷 (http://www.daum.net/)
- (2) 検索エンジン google(http://www.google.co.jp/)
- (3) KAIST Concordance Program(http://csfive.kaist.ac.kr/kcp/)